**Topics**

姿写真

横5 cm

縦6.7 cm

**最新の研究動向シリーズ（第?回）**

**タイトル〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇**

**姓 名（職位）**

〇〇分野 九州歯科大学

E-mail: ooooo@gmail.com
〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1

Published online: 01 October 2000

**はじめに**

　このシリーズでは、九歯大文や教員でリレー方式で執筆を依頼している企画です。分野・部門内の方で専門分野の研究動向について海外の論文を引用しながら解説する内容です。総説ではないため、気楽な文章でお願いいたします。「はじめに」では、本記事を書く発端と内容の導入を行ってください。読者の気を引くような面白い話をしてください。図表を含めて2ページで作成してください。

引用論文は和文でも英文でも構いません。文中での引用では、以下の例に倣い、文末の句点（。）の前に、論文最後の「引用文献」に羅列される文献番号を上付で行ってください。

　例）象牙質の増生に伴う歯髄腔の狭小化や根管の彎曲が挙げられる１）。

　九州歯科学会誌では、論文は本文内での引用順に番号を割り振ってください。校正の中で順番が変わることもありますので、論文提出の際には問題がないように確認してください。

　緒言の最後には、症例を発表する理由や意義を書いてください。

**〇〇〇〇〇**

　適当な見出しを付けてください。

1. 〇〇〇〇〇（2行まで）

改行して説明をしてください。その際は、行頭を１マス（全角）空けてください。

1. 〇〇〇〇〇（2行まで）
2. △△△△△
3. △△△△△
4. △△△△△
5. 〇〇〇〇〇（2行まで）
6. △△△△△：セミコロンで区切って、続けて説明をしても構いません。
7. △△△△△

セミコロンで区切らずに改行して説明をしても構いません。行頭を１マス（全角）空けてください。

1. △△△△△
2. □□□□□：セミコロンで区切って、続けて説明をしても構いません。
3. □□□□□

セミコロンで区切らずに改行して説明をしても構いません。行頭を１マス（全角）空けてください。

1. □□□□□

(x)これ以上の項目分けは行わないでください。

**まとめ**

　端的に本記事での内容をまとめてください。

**謝　辞**

記事作成に関して感謝したい人物をフルネームで挙げてください。

**引用文献**

1. 西田 郁子, 藤井 誠子, 森本 泰宏: 根未完成過剰埋伏歯に発症した象牙粒の一例. 九歯学会誌 76(3-4):66-69, 2022. https://doi.org/10.2504/kds.76.66
2. Ono K, Tanaka T, Inoue H, Ansai T, Sato-Wakasugi N, Muraoka K, Yokota M, Takehara N, Morimoto Y, Inenaga K. Small salivary gland size in patients with xerostomia of unknown etiology. Arch Oral Biol. 2009 Apr;54(4):369-73. http://doi.org/10.1016/j.archoralbio.2008.12.006
3. doi (Digital Object Identifier: 電子論文識別子)がある場合は必ず項目末に<http://doi.org/>をつけてdoiを書いてください。
4. 基本的には、学会HPにある引用文献書式を参考にしてください。本記事での引用数は最大５つまでです。

**〇出版サイズに図を調整してください。**

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

横7.8 cmは変更できません。

**図1：一番小さい横幅の図表の例です。**

**図2：中程度横幅の図表の例です。**

横12.7 cmは変更できません。

**図3：一番大きい横幅の図表の例です。**

横16.5 cmは変更できません

図説の部分をコピーして、ご自身の図表画像の横に配置してください。図説のフォントサイズは9ptです。図表の詳細な規定書式についてはHPの情報を参照してください。